施策評価シート（ 令和3　年度の振り返り、総括）

作成日	令和4 年　06月　10日

施策 No.	14	施策名	健康づくりの推進
主管課名	健康増進課	電話番号	0285-83-8122
関係課名	国保年金課、こども家庭課、社会福祉課、学校教育課、プロジェクト推進課、都市計画課、いきいき高齢課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874	78,592				

施策の目標	市民が生涯にわたり、健康でいきいきと暮らすことができる健康寿命の延伸に向けて、それぞれのライフステージに合わせた健康づくりを実践します。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・健康づくりに取り組んでいる市民の割合は市民意向調査の結果による。 ・健康寿命の年齢は健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班が定めた算定方法指針と算定プログラムを用いて県保健福祉部健康増進課が算定した。３年に１度の算定となり、H28数値をR元に発表、R元数値をR4に発表となる。 ・特定健康受診率は、人間ドック受診者・特定施設入居者・長期入院者を除いた４０歳～７４歳の国保加入者を対象としている。また、下記の成果指標のその目標値は、国民健康保険第2期データヘルス計画による。 ・メタボリックシンドロームの該当者は、４０歳～７４歳の国保加入者の特定健診受診者のうち、腹囲男性８５ｃｍ以上女性９０ｃｍ以上かつ、血圧１３０/８５以上または服薬治療中、空腹時血糖１１０以上または、ＨｂＡ１ｃ６%以上または服薬治療中、中性脂肪１５０以上ＨＤＬコレステロール４０未満または服薬治療中のうち2つ以上該当の割合。予備軍は該当が1つの割合です。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	目標値	%	87.4	87.5	87.6	87.8	87.9	88.0	88.0
	実績値			84.1	88.0				
健康寿命（男性）	目標値	歳	78.36	78.48	78.60	78.72	78.84	79.00	79.0
	実績値			78.36	79.08				
健康寿命（女性）	目標値	歳	83.23	83.29	83.32	83.35	83.38	83.4	83.4
	実績値			83.23	82.83				
特定健診受診率（国民健康保険対象者）	目標値	%	44.8	47.8	50.8	53.8	56.8	60.0	60.0
	実績値			37.3	41.7				
メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合（国民健康保険対象者）	目標値	%	32.1	31.9	31.8	31.7	31.6	31.5	31.5
	実績値			34.1	34.8				
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民の役割 ・一人一人が健康づくりの主役となり、健康づくりを主体的に取り組むとともに、年１回の健康診査を受診し、自らの健康管理をします。 行政の役割 ・市民が健康でいきいきと暮らすことができるよう、真岡市健康21プランを積極的に推進します。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

【真岡市健康２１プランの推進】について
○健康づくりに取り組んでいる市民の割合
・健康づくりに取り組んでいる市民の割合は令和3年度は88.0%であり、令和3年度の目標値である87.6%を上回った。
令和3年度はワクチンの接種が進み、一人でも取り組める運動推進対策としてウォーキングの習慣化に向け「ちゃれんじ60歩こうか真岡プラス１事業」を推進したことや地域においてラジオ体操講習会についても積極的に推進したことにより、地域での健康意識の高揚が図られたと考える。

【真岡市国民健康保険データヘルス計画の実施】について
○特定健診受診率（国民健康保険者）
・特定健康診査の受診率については、平成30年度は44.8%、令和元年度は44.1%、令和2年度は37.3%と減少し、令和3年度は、41.7%と目標の50.8%には届かなかったが少し回復した。要因としてはワクチン接種の普及に加えて、集団健診における感染予防対策の周知を図り安全性を知らせたことなどにより、コロナ過による市民の健診控えが少し解消したと考える。
○メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合（国民健康保険対象者）
・メタボリックシンドロームの該当者、予備群者の割合については、令和元年度が33.3%、令和2年度は34.1%、令和3年度は34.8%と上昇している。健診結果から肥満度（BMI）（市29.3%、国27.4%、県27.7%）、（腹囲）（市38.2%、国35.2%、県34.8%）血糖値の有所見者（市44.3%、国24.9%、県31.0%）のいずれも、国や県の割合より高い状況にある。特定健診は40歳から74歳が対象となるが、早期に若い世代の指導を開始することが重要であると考え、市では30歳代からヤング健診としてメタボリックシンドローム予防のため、生活習慣見直しの指導を取り入れ実施している。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

【真岡市健康２１プランの推進】について
○健康づくりに取り組んでいる市民の割合
・市民の健康寿命の延伸に向け、各年齢層において適切な健康づくりに取り組むことができるよう健診結果説明会や運動教室、糖尿病教室などの健康教育や市ホームページやウィークリーニュース等による周知活動に引き続き取り組んでいく。更に、まちなか保健室の積極的な活用により、健康相談をはじめ健康セルフチェックを行い、市民の健康増進につなげていく。

【真岡市国民健康保険データヘルス計画の実施】について
○特定健診受診率（国民健康保険者）
・特定健診の受診率向上対策として、健診に関心のない市民については、引き続き、市の広報紙やホームページ、いちごテレビやFMもおかなどによる周知を図っていくと共に、未受診者などのデータを活用し受診行動の変容を促す個別勧奨を実施していく。また、現在実施している集団健診のほかに、通院中の人が効果的に健診を受けられるよう、かかりつけ医での個別健診の実施に向け医師会と協議を行っていく。
○メタボリックシンドロームの該当者・予備軍（国民健康保険対象者）
・メタボリックシンドローム該当者、予備群者への対策については、現在行っている個別保健指導に加え、食事や運動を含めたより良い生活習慣の推進について、いちごテレビや広報、及び地域で健康推進員等が行う健康づくり事業（運動、栄養、健康指導）などを活用し、市民全体に知識の普及啓発を引き続き実施していく。
・今後、受診率の向上を図るためには、病院に行っているという理由で未受診者となっている市民が受診できるよう、かかりつけ医での個別健診を実施できるよう検討していく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和3 年度実績	今後の方向性
1	戦新	がん患者医療用補整具購入助成事業	健康増進課地域医療係	医療用ウィッグ助成件数	件	21	現状維持
				乳房補整具助成件数	件	6	現状維持
2		人間ドック・脳ドック受診助成事業	国保年金課国民健康保険係	利用率（受診者数／対象者数）	%	2.7	現状維持
3		健康電話相談事業	国保年金課国民健康保険係	利用率（相談件数／被保険者数）	%	13.3	現状維持
4		後期高齢者人間ドック・脳ドック受診助成事業	国保年金課高齢者医療係	利用率（受診者数／対象者数）	%	0.8	現状維持
5		健康診査事業	健康増進課健康づくり係	がん検診受診率（全がん平均）	%	27.8	事業のやり方改善
				特定健診受診率	%	41.7	事業のやり方改善
				後期高齢者健診受診率	%	30.5	事業のやり方改善
6		健康指導事業	健康増進課健康づくり係	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(市民意向調査)	%	84.1	事業のやり方改善
				メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合（国保）	%	34.8	事業のやり方改善
7		まちなか保健室事業	健康増進課健康づくり係	利用者数	人	2846	事業のやり方改善
				健康相談者数	人	132	事業のやり方改善
8		新型コロナ予防対策強化事業	健康増進課地域医療係/ワクチン接種推進係	新型コロナワクチン接種率（3回以上接種率　対人口%）	%	39.5	現状維持
				ワクチン手帳の作成数	回	30,000	現状維持
				注意喚起チラシ全戸配布回数	回	2	現状維持